

所信では、具体的な政策についても表明しました。その概要をお知らせします。

## 具体的な政策

「がんばろう高梁」を合言葉に、次の3つの戦略を市政運営の基本にとらえて取り組みます。

「高梁をええとこにする」戦略  
安全・安心な快適空間の創造

### ●子育て支援と教育

特に重点を置くこととして、将来を担う子どもたちのために、子育てと仕事が両立できる環境の整備に取り組みます。

#### 【子育て支援】

- ・安心して子どもを産み、家庭での養育力を向上させ、自信を持って子育てができる施策を行う。
- ・公共施設（学校、公園、コミュニティセンター等）を活用した交流会を実施するなど、地域でできる子育てネットの充実を図る。



子育て支援は重要な施策(わくわく子どもフェスタ)

- ・保健師の家庭訪問と育児支援、妊婦健診費助成制度、医療体制の整備等、総合的な子育て支援の推進。
- ・ひとり親家庭に対する自立支援策の充実。

#### 【教育】

- ・行き届いた教育を行うため、子どもの個性を大切にしながら、それぞれの地域とともに、今後の学校教育を検討する。
- ・自ら学び考える力を醸成して、豊かな人間性と社会性を育成する多様な教育内容の充実を図る。
- ・「基本的な生活習慣の定着とわかる授業」のための支援を積極的に行う。
- ・放課後に子どもが安心して活動できる場の確保を図る。

- ・特別支援教育の推進と不登校や学校不適応児童生徒への対応に、早急に取り組む。

### ●市立成羽病院

地域医療体制や市全体の福祉施策の中で一から再検討する。単に病院の設置だけでなく、他の関連施設と連携しながら、状況変化を踏まえ、病院自らが果たす役割を明確にしていく。

### ●高齢者福祉

介護予防を中心に、生活の質の向上を目指した地域での支援、地域包括支援センター業務の充実や老人クラブなどの高齢者生きたがいの支援事業を推進する。

### ●障害者福祉

障害者福祉計画で指針を示し、ノーマライゼーション(等しく生きる社会の実現)の考えのもと自立支援に重点を置く。

### ●市立高等学校再編

松山高校、宇治高校の統合は、今後の生徒数の動向や行財政改革の視点などを考慮して、当面は現状のまま再度検討し方針

を出す。

### ●学園文化都市づくり

- ・大学が持つ知識を地域づくりに生かしていくため、市全域がキャンパスとなるような仕組みをつくり、特色ある「大学のあるまち高梁」として共存共栄を図っていく。

- ・学生数の増加につながるよう大学支援を検討する。
- ・多文化交流時代に対応した人材の集積と交流の促進、産学官連携による活力と個性のある「学園文化交流都市・高梁」をつくっていく。

### ●情報通信の整備

ケーブルテレビ網を川上・備中地域に整備し、均一したサービスと利用しやすい料金体系を目指す。

### ●交通体系の整備

多くの人が利用できるような、持続可能なシステムの構築に向け改めて検討する。

### ●備中高梁駅のバリアフリー化

東西連絡通路を生かし、橋上



担い手の育成支援（ピオーネの栽培講習会）

「高粱を元気にする」戦略  
経済・産業の創造

● 農業重点施策

後継者や新規就農者など担い

化も視野に入れたエレベーターを備える施設の整備を検討する。

● 生活環境基盤の整備

・ 地域の实情にあつた道路網の整備。

・ 世帯向け住宅対策の推進。  
・ 上下水道の整備を中心とした生活環境の向上を図る。

手の育成支援と、企業とタイアップした流通システムの構築や産地化、農産物のブランド化、地産地消の推進等に取り組み。

● 農作業の受委託

組織化を支援するとともに、農業機械・施設等の整備に対する補助金や資金融資等の側面的な支援を行う。

● 観光振興対策

・ 市の歴史、伝統・文化や自然などのさまざまな資源を生かすとともに、新たな資源発掘にも積極的に取り組む。

・ 全市一体の観光戦略の立て直しを行い、民間資金の導入も視野に入れながら、「もう一度訪れてみたくなるまち・高粱」の構築に取り組む。

● 中心市街地活性化

各種支援制度を活用し、大学と連携する中で、魅力ある商店街の賑わい創出を図っていく。

● 雇用の場の創出・定住対策

・ 地場産業の振興と企業誘致を



地域で支えあう活動（高齢者配食サービス）

「高粱を変える」戦略  
市民のための市政を創造

● 行財政改革

・ 行政の無駄を一扫して、歳入を増やす努力をし、必要などころには資金を投入していく。

・ 市が保有している施設の在り方、事務事業の推進についてゼ

進め、雇用の場の創出を図るとともに、世帯向け等の住宅建設にも取り組む。

・ 農業体験や暮らし体験を通じて移住・定住を決められるよう、制度を検討する。

ロベラスから見直し、市の将来を見据えた効率的な財政運営、行政組織の簡素化を進める。

・ 不要不急な土地・施設の売り払いを進め、行政のスリム化を図る。

・ 市長交際費の全面公開などを進め、市民の理解と信頼を得るため大胆な改革を進める。

・ 入札制度は、税金を大切に効率的に使うため、競争原理が働き、質の高い公共工事とするために改革を行う。

・ 新庁舎は、行政の効率化のため、分散している教育委員会・社会福祉事務所・仮庁舎などの現状を踏まえ、計画段階から市民の意見を伺い、本庁機能の集積について財政面や利便性の点から検討する。

● 「自助」「互助」「公助」の精神で

自らが行動し互いに助け合う中で、自助・互助でできないことに対して公助による支援を行う。

● 高粱市総合計画の見直し

「高粱市は変わった、良くなった」との成果が実感できる計画づくりに努める。